

# 株式会社 万葉福祉会の 取り組みについて

株式会社 万葉福祉会  
代表取締役 山田朝日

# 取り組んでいる社会課題

## 事業内容について

- ① 自宅や在宅で最期の時を過ごす事ができない
- ② 医療的ケアを受けながら、入居できる老人ホームが少ない  
※訪問看護事業所で24時間体制の事業所が少ない
- ③ スキルの高い介護事業所が少ない

## 福利厚生について

- ① 子育てをしながら、働きやすい職場が少ない
- ② 自由に休みを取る事ができない
- ③ できるだけ、ライフスタイルに合わせて働きたい

# 社会課題解決のためのビジネスモデル

- ①多棟化経営（4棟）におけるスケールメリットを生かす
- ②看護師が価値役できる職場環境を作る
- ③看護師のセカンドキャリアも含めた活躍できる役割と場づくり
- ④休みを取りやすくする
- ⑤事業場単体ではなく、法人全体でカバーしあう勤務作成
- ⑥子育て世代の勤務時間は柔軟に設定
- ⑦夜勤者の負担（精神・肉体）を減らし、定着率を上げる

# 施設入居者層について

## ①平均介護度

3・5 ～ 3・8 （101床平均）

## ②経管栄養の入居者

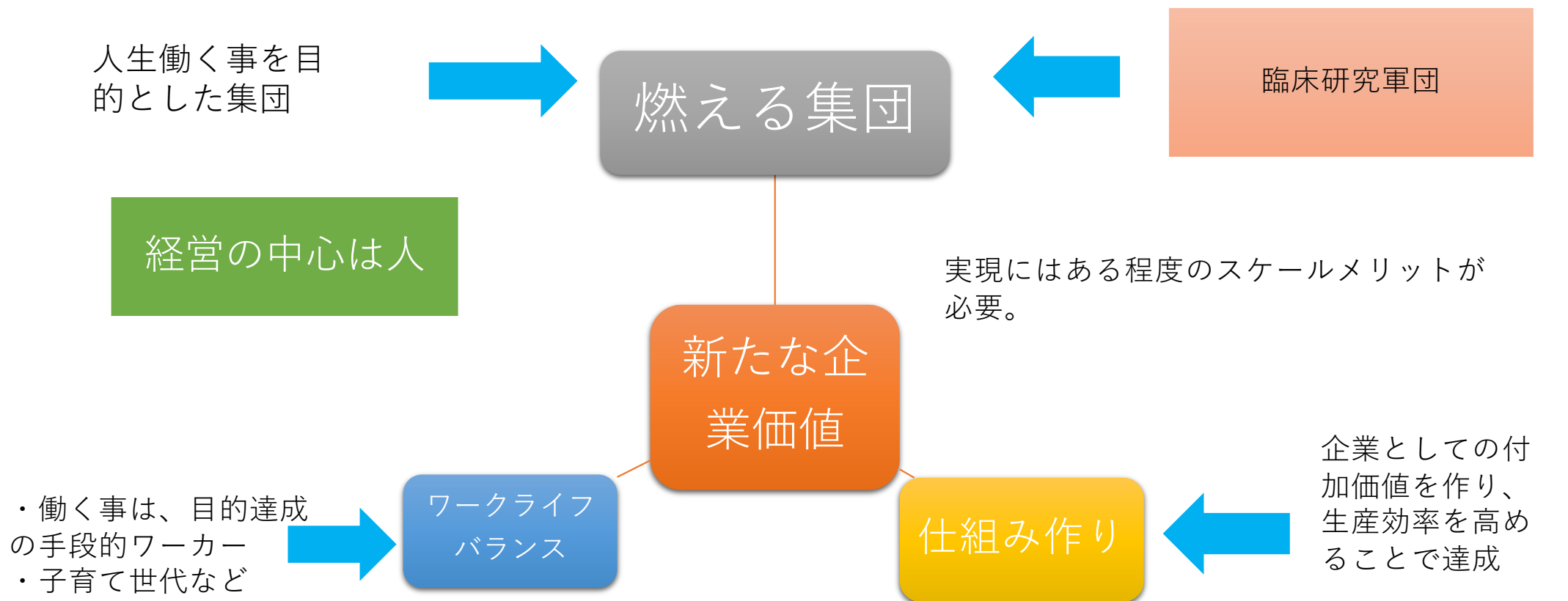
5名 ～ 10名（撫子・花桜・竜胆）

## ③バイタルモニター

セントラル（撫子・竜胆）

モニターのみ（万葉・花桜）

# ハイブリッド型経営



# 万葉福祉会 夜勤の配置と仕組み

オンコール看護師

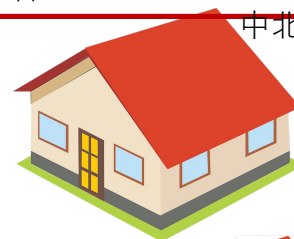
万葉の里 (21床) 介護1名  
水島町



万葉の里・撫子は  
徒歩30秒の隣接です。

撫子 (29床) 介護1名・看護1名 計2名  
水島町

竜胆 (29床) 介護1名・看護1名 計2名  
中北町



花桜 (21床)  
介護1名 ・ 看護1名  
計2名  
郡築2番町

車で7分

車で7分

4施設 100名程度のご利用者を7名で夜勤します。  
介護士4名 ・ 准看護師・看護師3名です。  
24時間看護師が常駐する環境です。  
その他に、オンコールの看護師1名います。  
医療的ケアなどが必要な方には、主治医と相談し生体バイタルモニターがありますので、ご利用者の異変にはすぐきずくことができます。

# 取り組み（サービス）

## ①医療的ケアの取り組み

→ 3施設で展開（内、2施設からは外訪問に出ている）

## ②20床代で2名夜勤の実現

→24時間介護・看護を行う

→4棟（101床）で7名夜勤の実現（看護3名・介護4名）

## ③決してご利用者は断らない

→入居・外部の相談は断らない

## ④相談→入居までをスムーズに

→専門・相談員を配置

その後の意思決定プロセスを明確化

# 会議などのルーティン

①代表者が参加する会議 2回のみ

1・上長会 （月初：1時間） 18：00～

目的：売上報告 など

2・勤務表会議（月末：90分） 10：00～

目的：4施設、厨房の勤務の確認すり合わせ

②その他会議

全体会： 1回あたり 60名の会議

介護看護研修会

各種委員会



# 情報の共有方法

## ①会社全体

共有フォルダを使う

→施設ごとのデスクトップPCに入れる

## ②入居情報

→入居相談員から、入居属性を判断し全体の責任者へ

## ③会社情報

→代表→上長（会議）→全体へ（フォルダや掲示など）

## ④年間スケジュールなど

## ⑤全体申し送りには行っていない

# 社会課題に取り組む動機

介護サービスについて

- ①行政主導では解決できない
- ②介護保険を運用するのは保険者で、サービスを提供するのは民間事業者（社会福祉法人・医療法人・営利法人等）
- ③介護事業で働く看護師の確保は非常に困難
- ④少子高齢化の問題は政策の問題ではなく、企業の理解のなさの問題
- ⑤働き方の多様化で解決する事ができる